

「しんぶん赤旗」から転載しています。

原発再稼働ストップ ☸ 金曜行動5月7日

◇秋 田

推進政策やめよ

秋田県の「さよなら原発県民アクション」は秋



「原発いらぬ。国民無視の政治許すな」と訴える参加者。秋田市

田市中通で429回目のデモ行進し、19人が参加しました。

住民・国民との約束をほごにし、合意もない汚染水海洋放出、老朽原発再稼働など原発推進政策を強権的に進める菅政権を強く批判。「国民の声無視で思いのままに動かせる国への突破口づくりを狙う戦争法強行、憲法改悪策動などと本質は一緒。反対・阻止の声をさらに高めよう」と訴えると、通りがかりの男性が「頑張れ」と激励しました。

金曜行動 5月14日

原発再稼働ストップ ☸

◇前 橋

若者からカンパ

原発をなくす前橋連絡会は、前橋市の前橋駅北口で430回目の宣伝に取り組み16人が参加しました。

連絡会の大川正治事務局長が「経済性も安全性もない原発をやめよう」と呼びかけ。荒木兼男事務局次長が「世界の地震の1割が集まる日本に安全な原発はない」と告発しました。

日本共産党の酒井宏明群馬県議が「原発をやめよ、責任を認めよの声を国に届けよう」と呼びかけました。足を止めて聞いていた2人組の高校生は「きちんと賠償して、再稼働や汚染水の海洋放出はやめてほしい」と話しました。高校生や若者からカンパや激励が相次ぎました。共産党のたなはしせつ子衆院群馬1区候補、小林久子前橋市議も参加しました。

◇高 知

人を大事にして

原発をなくし自然エネルギーを推進する高知県民連絡会は、高知市の県庁前で宣伝し、原発ゼロの日本の

実現などを求めました。

参加者は「持続可能な世界へ自然エネルギーの拡大を！」「いまず原発ゼロへ再稼働も輸出もノー」「原発ゼロ基本法を！」などと書いたのぼりやプラスタワーを持ってアピール。リレートークで、「原発ゼロの日本をつくらないと安心して眠れない。毎日、訴え続ける」「野党は原発ゼロの法案を共同提出している。野党連合政権が実現すれば法案が法律になる」「オリンピックも原発もやめ本当に困っている人に手をさしのべる、人を大事にする政治に」などと呼びかけました。



原発をなくそうと訴える参加者。前橋駅北口



スタンディング宣伝をする参加者。高知市



プラカードを先頭にデモ行進する参加者―新潟駅前



◇新潟

自転車降り署名

なくそう原発・新潟市民ネットは、新潟駅前では17人が参加して412回目の金曜行動をおこないました。

参加者は「原発ゼロ」「柏崎刈羽廃炉」などのプラカードを掲げてスタンディング。東京電力柏崎刈羽原発再稼働の是非の判断には「県民に信を問う」公約を守れと花角英世知事に求め

る県民署名と、柏崎刈羽原発の「設置許可取り消し」を国に求める全国署名の協力を呼びかけました。「原発なんかいららないですよね」と駆け寄ってきた青年や、自転車から降りて署名する男性もいました。宣伝後、参加者はデモ行進に出発。通りの飲食店から大きく手を振る3人の青年など激励がありました。

◇前橋

海洋放出やめよ

原発をなくす前橋連絡会は、前橋市の前橋駅北口で432回目の宣伝に取り組み、12人が参加しました。



原発をなくそうと訴える参加者―前橋駅北口

連絡会の大川正治事務局長が「二度と原発事故を起こさないよう原発ゼロをめざそう。総選挙で、原発推進議員を落選させよう」と呼びかけ。群馬県平和委員会の小田暁夫会長が「国に被害者の救済と、原発廃止を要求し続けよう」と訴えました。

原賠群馬訴訟原告の丹治杉江さんは「安全・安心な処理方法が開発されるまで、原発汚染水の海洋放出やめよと国に訴えよう」と呼びかけました。

宣伝中にカンパを寄せた会社員の男性(28)は「危険な原発は、地震の多い日本にあってはいけない」と話しました。